新潟県立加茂農林高等学校「学校だより」　令和元年10月発行（R105号）

みのり

学校ホームページ　http://www.kamonorin-h.nein.ed.jp

実りの秋、自然の恵みと勤労に感謝！

実りの秋を迎えました。田上農場と学校田では、コシヒカリともち米わたぼうしの収穫。コンバインで刈り取る生徒、角刈りをする生徒、落ち穂を拾う生徒（写真）と、それぞれが役割分担しながら、一粒も無駄にしないようにと丁寧に作業を進めました。

川船農場では、ブドウの収穫。高級ブドウ「シャインマスカット」の出来がよく、地域の皆さんに好評をいただいています。学校畑のハウスでは、メロンの収穫。ご予約いただいた方にお届けしました。

自然の恵みと生徒・教職員の勤労に心から感謝しつつ、美味しくいただきます！農業っていいな！

さんフェア新潟間近、繋ごう！伝統のバトン

10月26・27日（土日）に朱鷺メッセ他で開催される全国産業教育フェア新潟大会まで、残り1ケ月を切りました。

「繋ごう！伝統のバトン朱鷺翔る新潟から」のスローガンのもと行われる専門高校等生徒による学習成果発表の祭典です。

本校は、開閉会式の参画、作品展示、参加交流イベント、SPH事業報告、実演コーナー（箸づくり）、農産物販売、環境整備部業務（会場装飾と美化、駐車場整理・誘導等）と、多くの重要な役割を担います。

3年生を中心とした生徒の皆さんの晴れ舞台。全員が協力して誠実に取り組み、県内外の来場者に本校と本県産業教育の魅力を発信しましょう。

小・中・高合同挨拶運動、「おはよう」響く！

9月19～24日、加茂小学校で、小・中・高合同挨拶運動が行われ、元気な「おはようございます」の声が響きました。

本校からは青海会役員など延べ25名の生徒が参加。小学生とハイタッチしながら挨拶を交わしたり、マスコット“のうのう”にかわいい小学生の人だかりができたりと、例年にも増して元気な挨拶運動となりました。

挨拶という漢字は、「心を開いて、相手にせまる」という意味だとか。朝一番の挨拶で、コミュニケーションを深めるきっかけにしたいものですね。

環境土木コース2年、地図に残る仕事に感動！

9月18日（水）、新潟県建設業協会主催の建設現場見学会が行われ、環境緑地科環境土木コースの2年生16名が参加しました。

見学先は、三条市の笠堀ダムと大谷ダム、国道289号線八十里越道路のトンネル（写真）と橋脚建設現場です。生徒は、普段入れないクレストゲート（ダムの堤頂部に設置された放水ゲート）近くまで行き、その迫力に圧倒。八十里越道路建設現場では、自然保護への配慮に対応した工事の様子などに驚いたりしてきました。

建設・土木の仕事は、よく「地図に残る仕事」とも言われます。仕事の現場を自分の目で見て、高校での学びの大切さを実感するとともに、将来の進路について考えるきっかけにしてほしいものです。

若宮中学校の体験学習、交流深まる！

9月3～5日、若宮中学校の体験学習が本校で行われました。

内容は、日替わりで、中学1年生が生産技術科草花コースで「苔玉づくり」、2年生が野菜コースで「さつまいも掘り」（写真）、3年生が食品技術科食品製造コースで「ババロアづくり」を行いました。

指導役の高校生は、入念な準備を行い、中学生一人一人に農業学習の楽しさや奥深さを伝えようと工夫していました。

中学生からは、「粘土を丸め、苔を貼る作業が面白かった」「粉ゼラチンを溶かす時は沸騰させてはいけないと初めて知った」「さつまいもがゴッソリとれて楽しかった」などの声。農業の魅力に気付き、高校生とも交流が深まったようでした。

中学生の皆さんにとって、進路を考えたり、職業意識が高まるきっかけになったとすれば幸いです。来年度もお待ちしています。

五泉特別支援学校高等部と交流学習！

【ハサミでカット→】

【←開講式歓迎の言葉】

9月24日（火）、川船農場で、五泉特別支援学校高等部の皆さんとの交流学習が行われました。

約40名の高等部の皆さんが、栗拾い、ブドウ収穫、ブドウ調整、牛・豚の世話、採卵の班に分かれ、生産技術科果樹コース・動物コースの高校生がアドバイスしながら、一緒に作業を体験しました。

参加者からは、「ブドウのパック詰めもきれいに見えるように向きを考えて入れることに驚いた」「近くに寄ったら牛が思った以上に大きくてビックリ」などの声。驚きや発見があったようです。

長く続く取組、来年度もお待ちしています。

果樹コース、鳥獣対策の技術を学ぶ！

9月13日（金）、果樹コース2年の技術講習会が行われ、㈱三条害虫の専門家お二人から、鳥獣対策の技術を学びました（写真）。

また、課題研究テーマの一つとして、今年度は狩猟免許（わな猟免許）試験にも挑戦。9月1日（日）には狩猟免許取得希望者講習会に3年生鳥獣対策班5名が参加し、講義や実技講習を受けました。

講習会に参加された地域の方々から、「狩猟免許を持っている人がかなり高齢となり、駆除対策が追いついていない」「若い人（高校生）の狩猟免許試験受験に期待している」との声が多く寄せられました。その期待に応えられるよう試験対策をしっかり行って、全員合格を目指します。

☆合い言葉はGRIT（やり抜く力）☆

就職選考試験スタート、推薦・AO入試も本格化！

9月16日から高校生の就職選考試験が全国一斉にスタートしました。また、大学、短大、専門学校、農業大学校の推薦・AO入試も本格化しています。

就職試験では、合否結果が届き始めました。悲喜こもごもですが、<u>すべてに通じることはGRIT（やり抜く力）の大切さ</u>です。

【内定した生徒】

内定した生徒は、生活態度、学習とも気を抜かずに高校生の本分をやり抜いてください。併せて、仕事で役立ちそうなことにチャレンジしましょう。

【不合格だった生徒】

不合格だった生徒は、悲観することはありません。一次応募で内定を得られないことは珍しくありません。気持ちを切り替えて次に進みましょう。

担任や就職担当の進路指導部の先生に相談してください。多くの情報を持っています。諦めずに内定を得るまでやり抜くことです。

ある人が言っています。
「神様は乗り越えられない試練を与えない」と。
教職員みんなで応援しています。
（参考:「進路の手引」P73～）